



日射反射率
UP!

水性

屋上防水遮熱塗料

コンクリートの陸屋根

コンクリートのベランダ

紫外線劣化防止剤 (HALS) 配合

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

使用方法・注意事項をよく読んでから使用して下さい。

屋上の表面温度上昇を抑える!

赤外線反射顔料
特殊中空ビーズ配合



標準塗り面積(2回塗り)
4~5㎡ 約2~3枚分

乾燥時間
夏期/1~3時間
冬期/3~5時間

塗り重ねの目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

塩化ビニールシート防水面

ゴムシート防水面
専用シーラーが必要です。

3L



(※1) 遮熱効果について
表記している温度は、独自の機器にて計測した自然比較試験による
ものです。実際の屋上を計測したものではありません。
遮熱効果は塗装箇所、天候や環境、被塗物の状態、塗装条件や色により異なります。

商品名 水性屋上防水遮熱塗料 品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、紫外線劣化防止剤(HALS)、水

- 特長
- 特殊顔料と特殊中空ビーズの配合により高い遮熱効果を発揮します。
 - 厚塗りタイプの簡易防水塗料です。
 - 特殊架橋システム及び紫外線劣化防止剤(HALS)により、耐候性・耐久性に優れた高性能塗料です。
 - シート防水面(防水材)への密着性に優れ、塩ビシート、アスファルト防水面には直接塗装できます。
 - 酸性雨・酸性雪・塩害に強い塗料です。
 - 取り扱いが簡単で、乾燥が早いタイプです。
 - 骨材の嵩きにより、滑り止め効果もあります。
 - 万能用ローラー・バケで簡単にきれいに塗装できます。

- 用途
- コンクリート陸屋根やベランダの簡易防水・防塵(コンクリート・モルタル用)
 - 各種シート防水面(塩ビシート、加硫ゴムシート(EPDM))、アスファルト防水面、ウレタン塗膜防水面。

FRP防水面には塗装できません。絶えず水がかかったり水につかることや、いつも濡っていると
ころには適しません。

- 塗装方法
- ① はがれかかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して十分に
取り除きます。
● 塗る面の汚れ・ホコリ・砂・コンクリートのアク・カビ・藻などを取りデッキブラシなどを使用して
十分に水洗いし、よく乾かします。(2日以上)
● カビはカビトリ剤で、油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
 - ② 塗料がついては困る場所は、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
 - ③ アサヒペン水性屋上防水遮熱塗料専用シーラーで必ず下塗りします。(塩ビシート、アスファ
ルト防水面には直接塗装できます。又、下の下地処理の注意のように、油性シーラーでの下塗
りが必要な場合もあります。)
 - ④ フタに手をそえてフタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで
容器の底から十分にかきまぜて均一にします。
● 塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
 - ⑤ コーナーや塗りにくいところは、先に下塗りバケで塗ります。広い面積の部分はローラー・バ
ケ・平バケなどを使い、均一にならば(0.3L/㎡程度)塗ります。
● 1回塗りの面が十分に乾いてから、必ず2回目をたっぷり(0.4L/㎡程度)塗ります。
● マスキングテープは、塗装後すぐにはがします。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水で洗って下さい。

遮熱効果について

- 遮熱効果は塗装箇所の天候や環境、被塗物の状態、塗装条件、色などによって異なります。
- 当社製水性屋上防水塗料の同系色との表面温度の自社比較試験では、ライトグレーが13℃、
グリーン系は9℃前後低くなります。

- 下地処理の注意
- ① つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。
 - ② ヒビ割れ・穴・ヘコミ・カケなどは、あらかじめセメントやコーキング材など
で補修しておきます。③ コンクリートやモルタル面の劣化が著しく、手で触れて、手に粉がついたり、
ポロポロと取れるような場合には、きれいに除去してから油性シーラーを下塗りして下さい。
 - ④ 新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヶ月以上経ってから行い、必ず油性シ
ーラーまたはアサヒペン浸透水性シーラーを下塗りして下さい。

- 保管上の注意
- ① 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食しないすをしない
ように注意して下さい。
 - ② 残った塗料は、しっかりとフタを閉め、直射日光
や-5℃以下の場所、容器がさびやすいところを避けて保存し、できるだけ早く使い切して下さい。

取扱い上の注意

- 1 表示の用途以外に使用しないで下さい。
- 2 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱して下さい。
- 3 塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
- 4 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に、風通しよくして塗って
下さい。塗装後1日(夏期)~3日(冬期)以内に結露したり雨が降ったりと、ふくれ・
ハガレや塗膜が溶解する場合があります。
- 5 塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないよう時間に塗って下さい。
- 6 気温が高い時(特に夏期)に塗装する場合、塗料の表面が早く乾いてしまうので、何度も
返し塗り(ハケ返し、ローラー返し)をせずに、すばやく塗って下さい。また、容器内の塗料
の乾燥を防止するため、フタを開けたまま放置しないで下さい。
- 7 降雨や水洗いの後は、2日以上、下地を十分に乾燥させないと、水分の影響で乾燥が遅
れたり、塗膜にふくれを生じることがあります。
- 8 あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・下地への影響・密着性などを確
かめてから塗装して下さい。シリコン系・フッ素系・その他特殊防水処理をした面や、強化
コンクリート・コーキング材・シーリング材、ゴムシート防水面の一部やウレタン塗膜防水面
の一部のものには、塗料が密着しないことがあります。
- 9 表示の色・ツヤは実際のものと多少異なることがあります。
- 10 陸屋根を塗る場合は、降りるところが最後になるように順序を考慮して塗装して下さい。ま
た、転落事故のないよう十分に注意して下さい。塗料が乾燥するまでは、たいへん滑りや
すいので、塗膜の上を歩かないよう注意して下さい。
- 11 標準塗り面積を守って塗装して下さい。(1回塗り0.3~0.4L/㎡使用します)うすめず
たり、うすく塗りすぎるとうまく仕上がらない場合や、遮熱効果が発揮できない場合があり
ます。また、あつく塗りすぎるとふくれ・ハガレが生じる場合があります。
- 12 塗装後重いものを置く場合は、7日以上経ってから置くようにして下さい。
- 13 本品は簡易防水塗料ですので、十分な防水効果が得られない場合があります。
- 14 外壁などにひび割れやすき間があると、本品を陸屋根などに塗装しても、雨水がしみこみ塗膜
がふくれたり雨漏りが止まらない場合がありますので、外壁などの点検補修を行って下さい。
- 15 床面や下地のコンクリートやモルタルに雨水等の水が浸入するような構造の場合、塗膜に
ふくれ・ハガレが生じる場合があります。
- 16 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。
- 17 塗膜が水で濡れると、濡れ色となり濃くなる場合があります。
- 18 容器は塗料を使い切ってから捨て下さい。
- 19 やむを得ず塗料を捨てる場合は、水性塗料用固着剤で固化するか、新聞紙などに塗り広
げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。

危険		● 臓器の障害 ● 水生生物に毒性
----	--	----------------------

- 救急処置
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて
下さい。
 - 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静
にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
 - 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のある
ときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製
01-1112